

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	38
施設名	葛飾区花の木保育園
施設所在地	葛飾区南水元3-7-2
法人名	葛飾区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭遊び

<テーマの設定理由>

日当たりがよく広い園庭がある。見通しの良い園庭で2～3クラスと一緒に遊べ、異年齢と関わりが生まれてくる。玩具のみでなく、素材を組み合わせ遊ぶ姿が見られ『園庭遊び』が広がる環境を子どもたちと考え、友達同士で工夫し共有して楽しむことができるため。

2. 活動スケジュール

令和7年5月：テーマを決定

令和7年7月：必要物品を決定し購入

令和7年9月：物品到着

令和7年10月～令和8年3月：実施

(内訳：10月4回、11月2回、12月3回、1月2回、2月1回、3月2回、計14回)

令和8年3月：振り返り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子どもたちがすぐに手に取れるように砂場近くに水流し・ソフトブロック・砂場用じゃぶじゃぶ池などを置いておく。

園庭に落ちたかりん・乾いた砂・ボール・水を使用する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

令和7年10月9日（4歳クラス）

砂場に穴を掘って池をイメージして遊ぶ。水流しをつなげ、プラスチックの台やかごを裏返し、水流しの土台にし、長くつなげると水を運んで流してみる。途中水が漏れていないか観察したり、ゴールの池に水が来るか試していた。

令和7年10月10日

購入した水流しを初めてみる3歳クラスの子どもたち。どう使ってよいのかわからない様子なので、保育士が何個かつなげ斜面にしてみる。乾いた砂を試しに流してみるとさらさらと滑っていく様に面白さがわかって子どもたち自身が水流しをつなげて遊びだす。

令和7年11月16日

はじめは斜面に砂を入れていた。どんぐりを拾って転がしてみたり真っ直ぐつなげて転がしたり。物が転がらなくても、長くつなげて何かをイメージしていた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

水流しが上手くつながらず、崩れたり隙間があいて砂や水が漏れてしまう。「あれ？流れてこないね」「水が漏れてるよ」「長くなったー」と友だちとハプニングを共有して楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

遊びを経験することで道具の使い方や友だちとの協力の仕方を楽しめるようになる。個々に楽しむ子もいるが、会話を通して協力しあったりカバーしあう姿が見られた。「どうやったらいいかな」「なんでだろう」など考えて工夫していた。